

# 平成29年度事業計画書

平成29年4月1日より平成30年3月31日まで

公益財団法人セディア財団

## はじめに

当財団は、平成25年4月1日に設立し、同年8月に公益財団法人の新規認定を受け、平成29年度は設立5年目を迎えます。当財団は、自然体験活動やスポーツ教室の開催、小学生を対象としたかべ新聞コンテストを通じて、国民の環境意識の増進と健全で豊かな人間性の構築に寄与すべく様々な事業を実施いたします。

## 財団の事業目的

この財団法人は、自然環境の源である水の大切さから環境保護を学び、恵まれた大自然の中での自然体験、野外活動、農業体験及びスポーツを通じて健康で活力に満ちた心身とともに豊かな人間を育てることで、時代を担う青少年の育成、高齢者の生涯現役の持続、障害者の自立支援を図り、健康で豊かな社会の構築に寄与することを目的とします。さらに小学生を対象とした第3回「水に関するかべ新聞コンテスト」を実施し、水の大切さと衛生的な生活環境に不可欠な水道の仕組みを学ぶことによりさらなる青少年の健全な育成と公衆衛生の知識向上を図ります。

## 事業

### 1. 自然体験、野外活動及び農業体験事業(公1)

子供や障害者、高齢者に向けて、自然体験、野外活動、農業体験を実施し、ガイド・インタープリター等の専門家や地域の環境保護活動の担い手の方々の指導のもと、実際に体験しながら環境の学習を行い、自然保護、環境意識の向上、郷土愛の醸成等を図り、青少年の健全な育成及び高齢者の生きがい促進、障害者の自立支援を図るため、以下の事業を実施します。

## (1) 子ども対象にした自然体験活動事業

平成29年度より子どもを対象にした自然体験活動事業を「アウトドアチャレンジ野外力検定」と称し、更なる自然体験活動の普及促進を図ってまいります。

なお、「野外力検定」と称するが、厳密な検定では無く、子ども達が楽しく自然体験に取り組むためのネーミングで、「火をおこす」「ロープを結ぶ」「テントを張る」「地図を見る」「コンパスを見る」「丸太を切る」「植物や動物を観察する」「星空を見る」など野外活動のメニューを子どもの年代に応じた水準を決めて体験してもらいます。この野外遊びの体験会を「野外力検定会」と称して、実施していきます。また、実施にあたり、教材・資材の拡充とともに子ども達への体験指導を行う指導員の育成のため、指導用のガイドブック制作や研修会を行います。

- ① 指導員養成のため研修会 年2回～3回
  - ・当財団の子どもを対象にした自然体験活動「アウトドアチャレンジ野外力検定会」のメニュー内容を理解してもらい、安全に子ども達の体験を指導できるようにする。
  - ・対象者 全国の自然体験活動を行っているNPO法人や団体、ガイドやインタープリターなどの個人で自然体験活動を実施している方。
- ② 指導員用ガイドブックの制作
  - ・アウトドアチャレンジ野外力検定のメニューと安全に体験会(検定会)を実施できるようガイドブックを制作する。
- ③ 自然体験会(野外力検定会)の実施
  - ・全国各地 10会場～15会場を目標に実施
  - ・開催場所 各地の青少年自然の家、運動公園、スポーツセンター
- ④ 各種教材の作成、資材の購入
  - ・「アウトドアチャレンジ 野外力検定会」の横断幕やのぼり旗、指導員が着用するビブス(指導員と認識できるようにする)の購入、子ども達が自然活動メニューを体験した時に渡す「検定合格カード」の印刷作成やたくさん体験した子どもを表彰する賞状も作成する。

## (2) 子どもの田植え体験と農業の担い手である高齢者の交流促進

- 実施日 : 平成29年6月11日(日)予定
- 内容 : 都市部に住む子供とその家族を対象に、長野県の農業従事者(高齢者)の指導のもと田植え体験を実施いたします。地元高齢者と都市部の子供達との交流を通して、子供達の自然環境教育や食育を行い、併せて地元高齢者の生涯現役のための環境整備を支援するとともに新たなコミュニティの造成を図ることを目的とします。

これ以降の事業予定としては以下の通りである。

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| ・障がい者とその家族の自然散策体験 | 平成29年9月初旬予定  |
| ・都会の子どもによる稲刈り収穫体験 | 平成29年10月初旬予定 |
| ・高齢者スノシュー体験       | 平成29年2月中旬予定  |

## 2. スポーツ教室及び競技会の開催(公2)

子どもや障害者を対象にスキーを主としたスポーツ教室を実施し、併せて技能向上を主眼とした競技会を開催することで、心身ともに健全な豊かな人間性の滋養を図ります。

- ・ブラインドスキー教室・大会の開催
- 実施日 : 平成30年1月下旬
- 内容 : 長野県アサマ2000スキー場にて、視覚障害者のスキー支援のためのブラインドスキー教室を開催し、その普及を図る。また、教室参加者によるブラインドスキー大会を開催し、視覚障害者スキーヤーの意欲醸成を図る。

### 3. 「水」に関するかべ新聞コンテスト(公3)

小学生が学校や家庭で制作した「水」に関するかべ新聞を募集し、その作品を評価、優秀な作品を制作した小学生または学校を表彰することによって、「水」に関する環境教育を奨励し児童、青少年の健全な育成と「水道の仕組み」を学ぶことにより公衆衛生の知識向上を図ります。

本かべ新聞コンテストは、平成27年度に公益事業として認可を受け、平成29年度は第3回目のコンテスト事業となります。昨年度の第2回コンテストでは、全国から3,095作品ものすぐれた作品が寄せられ、公益事業としてのかべ新聞コンテストの社会的認知度は高まってきたと思われます。平成29年度も更に多くの小学校で取り組んで頂けますよう募集告知の方法を工夫し、また、運営上の課題等も洗い出しながら充実したかべ新聞コンテストになるよう取り組みしていきます。

#### (1) 事業概要

- |        |   |
|--------|---|
| ① 事業名称 | しらべてみよう、たいせつな水のこと<br>第3回全国小学生「くらしと水」かべ新聞コンテスト   |
| ② 主催   | 公益財団法人 セディア財団   |
| ③ 後援   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 全国市町村教育委員会連合会</li><li>・ 全国連合小学校長会</li><li>・ 全国小学校社会科研究協議会</li><li>・ 全国小学校理科研究協議会</li><li>・ 日本初等理科教育研究会</li><li>・ 全国小学校理科生活科・総合的な学習教育研究協議会</li><li>・ 全国新聞教育研究協議会</li><li>・ 全国小中学校環境教育研究会</li></ul> |
| ④ 対象   | 全国の小学生<br>個人またはグループでの応募も可   |
| ⑤ 募集内容 | わたしたちのくらしに欠かすことのできない、たいせつな「水」に関する学習内容をまとめた「かべ新聞」や「学習新聞」   |
| ⑥ テーマ  | わたしたちのくらしと水   |

#### テーマ例

- ・学校や家で使う水はどこからくるのかな
- ・使ったあとの水はどうなるの
- ・井戸ってなに？むかしのくらしと水
- ・わたしたちの地域の水じまん
- ・水の不思議を探してみよう
- ・家族でチャレンジ、節水とエコ
- ・世界の国の水事情
- ・植物や作物などを上手に育てる水のやり方

#### ⑦ 募集部門 2部門

- 低学年の部 小学1年生－3年生
- 高学年の部 小学4年生－6年生

#### ⑧ 募集方法

- ・6月上旬 全国の小学校へポスター、チラシを送付
- ・6月中旬 日本経済新聞で告知広告を掲出

#### ⑨ 募集締め切り 平成29年9月末日予定

- #### ⑩ 審査委員会
- ・一次審査 小学校現役教諭を中心に依頼(18名～20名)。ノミネート作品を選出する
  - ・最終審査 一次審査のノミネート作品の中から一次審査の審査委員長、有識者(大学教授等複数人)、財団理事長で最終審査を行う。

#### [最終審査委員予定者]

- ・角屋重樹 日本体育大学児童スポーツ教育学部教授
- ・北 俊夫 国士舘大学体育学部教授
- ・全国小学校社会科研究協議会 会長
- ・全国小学校理科科研究協議会 会長
- ・全国新聞教育研究協議会 会長
- ・主催者代表 公益財団法人セディア財団 理事長

#### ⑪ 発表 日本経済新聞で審査結果の発表広告を掲出

#### ⑫ 賞と賞品 ◇最優秀賞 セディア財団賞 全作品より1作品

- 賞状、記念たて、副賞(図書カード5万円分)
- ◇優秀賞 両部門から計4作品  
賞状、記念たて、副賞(図書カード2万円分)
- ◇準優秀賞 両部門から計10作品  
賞状、副賞(図書カード5千円分)
- ◇佳作 両部門から計20作品  
賞状、副賞(図書カード1千円分)
- ◇努力賞 両部門から65作品  
賞状、副賞(図書カード500円分)
- 上記入賞作品数合計は100作品
- ◇学校奨励賞 優秀な作品を多数応募した小学校2校を表彰する。賞状、記念たて、副賞(図書カード5万円分)
- ◇参加賞 応募者全員に記念品(文具)

## (2) 事業スケジュール

- 5月 ・かべ新聞作品募集要項の決定  
・募集用ポスター、チラシの決定  
・応募の手引の制作  
・募集用新聞広告の決定  
・審査委員体制の決定
- 6月 ・募集用新聞広告の掲載  
・全国の小学校への作品募集の案内、募集要項、ポスター、チラシ、応募の手引の発送(約5000校)
- 9月 ・9月下旬 作品締切
- 10月 ・作品 一次審査実施
- 11月 ・最終審査委員会実施  
・入賞作品決定、入賞の通知  
・入賞作品新聞発表

- 12月
- ・入賞作品対象学校へ賞状、記念タテ、賞品図書カード送付
  - ・入賞作品集の制作

平成29年度は以上のような事業を行い、この財団法人の目的達成を目指します。